

日 時 平成20年1月29日(火) 午前10時 開 会

出席議員 (16人)

1番 工藤和子	2番 大久保朝泰
3番 大溝雅昭	4番 工藤俊広
5番 工藤禎子	6番 村上啓二
7番 北山一衛	8番 佐々木隆
9番 後藤秀憲	10番 山田鉦一
11番 鳴海泰三	12番 中田博文
13番 斎藤直文	14番 工藤賢治
15番 福土幸雄	16番 村上隆昭

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長 鳴海広道	副 市 長 玉田 芙佐男
総 務 部 長 村上豊継	企画財政部長 柿崎 武光
民 生 部 長 工藤 誠	福 祉 部 長 山田 良一
農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 三浦 貢	建 設 部 長 佐々木 武市
上下水道部長 盛 恵之介	黒石病院 事 務 局 長 木立 正博
総 務 課 長 佐山孝司	財 政 課 長 成田 耕作
福祉総務課長 清水弘美	健康長寿課長兼 地域包括支援センター所長 村元 英美
農 林 課 長 兼 バイオ技術センター次長 工藤 秀雄	土 木 課 長 村元 茂
監 査 委 員 廣瀬 左喜男	教 育 委 員 会 委 員 長 篠村 正雄
教 育 長 横山 重三	教 育 部 長 工藤 忠
選挙管理委員会 委 員 長 乗田 兼雄	農 業 委 員 会 会 長 木村 兼作

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成20年第1回黒石市議会臨時会議事日程 第1号

平成20年1月29日(火) 午前10時 開 議

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案第 1 号 平成 19 年度黒石市一般会計補正予算 (第 6 号)

市長提案理由説明

出席した事務局職員職氏名

事務局 長 齋藤 光雄
次 長 長谷川 直伸
議事係 長 太田 誠
議事係 主査 山谷 成人

会議の顛末

午前 10 時 01 分 開 会

議長 (齋藤直文) ただいまから、平成 20 年第 1 回黒石市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事は、議事日程第 1 号をもって進めます。

議長 (齋藤直文) 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 80 条の規定により、議長において 7 番北山一衛議員、9 番後藤秀憲議員を指名いたします。

議長 (齋藤直文) 日程第 2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期臨時会の会期は、本日 1 日といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長 (齋藤直文) 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日 1 日と決定いたしました。

議長 (齋藤直文) この際、諸般の報告をいたします。

議員派遣の件について、別紙議員派遣承認報告書のとおり、閉会中、議長において議員派遣を承認しましたので、御報告いたします。

議長 (齋藤直文) 日程第 3 議案第 1 号を上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

登壇

市長 (鳴海広道) 今回の臨時会に提案いたしました議案の概要について、御説明申し上げます。

す。

案件は、議案第1号 平成19年度黒石市一般会計補正予算案であります。

昨今の原油高騰の影響が市民生活を直撃していることは周知のとおりであり、特に生活困窮世帯に暗い影を落としている現状を踏まえ、経済的負担を軽減するため、約1,500世帯を対象に1世帯当たり4,000円の灯油購入助成券を交付する黒石市福祉灯油購入助成事業の実施を図ることに伴い、歳入歳出それぞれ70万円を追加し、予算の総額を152億1,476万6,000円にしようとするものでございます。

歳出では、第3款 民生費に福祉灯油購入助成事業費620万円を追加し、老人保護措置費550万円を減額いたしました。

歳入においては、この取り組みに対して県でも支援することから、第14款 県支出金に70万円を増額したものでございます。

以上、議案の内容を簡単に申し上げましたが、御審議の際、詳しく御説明いたしますので、よろしく原案どおり御議決を賜りますようお願い申し上げます。

降壇

議長（斎藤直文） 日程第3 議案第1号 平成19年度黒石市一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

提案理由の補足説明を求めます。

（「省略」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 省略の声がありますので、省略いたさせます。

お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略し、直ちに審議いたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認め、委員会の付託を省略し、直ちに審議いたします。

質疑に入ります。4番。

4番（工藤俊広） 質問ではございませんけれども、一言申し上げたいと思います。

12月議会におきまして、原油高騰の折、この生活困窮者に対する助成を求める質問をさせていただきます。そのときの答弁では、調査、また協議をしていくと。そういった答弁をもらいましたけれども、現実黒石の財政を考えたときに、なかなかこれは厳しいのではないかなというふうに思っておりました。そういった中であって財政再建、今、黒石が取り組んでいる最重要課題の中でありまして、市長並びに職員の皆さんが一生懸命このたびの議案上程

にまで至らせてくれたということに、市民を代表いたしまして、代弁をいたしまして、まずもって市長、職員の皆さんに感謝を申し上げたいというふうに思います。

まず、金額的に4,000円ということで、かなり低い金額だなというふうに思われるかもしれませんが、この黒石の中にあってでき得ることを、もう本当に歳入確保、さまざまな検討をされてやっていただいているということを実感する次第であります。

今後また、こういう行政が厳しいときには、本当に生活の困窮者、生活弱者と言われるところに大変なしわ寄せが来るというふうに思われます。私たち議会も、本当にこの福祉問題に関して真摯に取り組みをしていきたいし、また行政の方にも心の通った、福祉行政運営をこれからもお願いしたいということで、一言御礼とそういった気持ちをお伝えしたく申し上げさせていただきます。よろしく今後ともお願いいたします。

議長（斎藤直文） 5番。

5番（工藤禎子） 対象世帯を一応約1,500世帯って見ているわけですけども、これは最大だと思いますので、実際、今いろんな事務作業もしていることですし、2月1日の現勢っていいですか、そういうので見るということなんですけれども、その1,500世帯よりも低くなるのではないかなと思いますが、その点のちょっと見通しをお知らせ願いたいということと。

仮に、高齢者の世帯を70歳に、要するに引き下げるとすると何世帯くらいふえるのか。あと、生活保護世帯というと、どれぐらいの世帯になるのか、お知らせ願いたいと思います。

議長（斎藤直文） 福祉部長。

福祉部長（山田良一） 2月現在以降どの程度になるか、今の段階でははっきりと御答弁いたしかねます。場合によっては減るかもわかりません。

それからですが、70歳以上にした場合は約350世帯ほどふえる見込みで、その場合ではまた140万と新たな持ち出しが生じます。さらに、生活保護世帯435世帯ほどありますが、これも加えるとさらに180万ほど増ということになる次第であります。以上であります。

議長（斎藤直文） 質疑を終わります。

討論に入ります。5番。

5番（工藤禎子） 620万ほどかかるっていうふうに見えていますよね。それで県から70万ということで、550万に対して特交措置が半分と。ですから、市の一般財源からは275万というふうに説明を受けました。それで老人保護措置扶助費ってというのが一応ね、550万ほど減額の見通しが出たということで、それを充てたということになっているわけです。

それで、ここ5年間の老人保護措置費をですね、14年度から18年度をこう調べてみました。そうすると、確かに追加をしなければ、要するに予算と決定額を見た場合に、途中で追加

をしなくてはいけない年も2年ありますね、14年度と16年度。で、あとはですね、17・18年度は1,000万を超える減額というふうに、要するに変動は確かにあるわけです。しかし、そもそもこのぐらい当初予算見たけれども、戻ってくるだろうというふうに計算はしていないわけですから、当てにしているようでしていないという見方も見ることができるわけですよね。

そうすると、550万の減額の中で275万、市は持ち出しすればいいわけですから、275万の余裕があると。そうすると、単純にいくと1,500世帯を見ているから、倍の措置はできるというふうな議論になります。今、部長しゃべったのは、特交を引いたり、県のを引いたりしていない単純にかかる金額ですから、その約半分ぐらいしかかからないということになると思いますので、そういう点ではもうちょっとですね、範囲を広げる可能性もあると。

それから特交もね、ここ5年間調べてみました。16年度はですね、豪雪のときですから、この間特交の傾向については、市長も大変頑張っている努力もあってですね、決定時は予算時よりもふえております、1,000万、3,000万、2,000万という形で。18年度はちょっと厳しかったですけれどもね。そういう点では、多く来るという可能性も十分、この間の動向を見ているとあるというところから見ればですね、一応。

それと、さっき私が言ったように、対象の世帯を最大で見えていますので、実際の事務作業の段階ではこれよりも下がるというふうには言えると思います。それらを考えた場合に、もうちょっと対象世帯なり、あるいは4,000円じゃなくて5,000円、1,000円上げたとしても500円の半分は措置されますんでね、そういうことから考えると、広げていただける可能性もあるし、それも要望しつつも、いろんなトータル的に見た財政の中でですね、実施するというように判断して下さったことについては反対するものではありませんので、そういう点では辛口の賛成討論をさせていただきます。

議長（斎藤直文） 討論を終わります。

本案を採決いたします。

本案は原案のとおり決するに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（斎藤直文） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

議長（斎藤直文） 以上で、今期臨時会に上程されました議案の審議は全部終了いたしました。

これにて平成20年第1回黒石市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時14分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成20年1月29日

黒石市議会議長 斎藤直文

黒石市議会議員 北山一衛

黒石市議会議員 後藤秀憲